

令和2年度 幼保連携型認定こども園 姫路東こども園自己評価結果

1. ○基本方針

- ・安全で安心して通えるこども園の確立を目指します。
- ・園児一人ひとりを大切に、「丈夫な身体づくり、明るくのびのびした心を育てる」保育を目指します。
- ・社会性、協調性を基調として、生活習慣やしつけが身につく保育を目指します。

○教育・保育目標

「のびのびと遊び、豊かな心と身体を育てる」

- ・ことば遊び、絵本の読み聞かせ等により豊かな言語を育てる。
- ・リズム遊びにより情操豊かな子どもを育てる。
- ・生活習慣の確立を目指し、自立する子どもを育てる。

2. 令和2年度のテーマ

「思いやりを持った行動をする」「時間に余裕を持った行動をする」

姫路東こども園の職員は、子どもたちが日々安心して過ごすことが出来るように、温かく見守り、適切な援助を行うことが基盤となり、一人ひとりと信頼関係を築いていきたい。

また職員が互いに気遣い合い、互いを思いやる心を持ち、社会人として尊敬し合える関係を構築し、一人ひとりが専門職としての自覚を持ち、保育・教育に努める。

3. 目標・計画の達成及び取り組み状況

評価項目	自己評価	評価理由と取組状況
保育内容の 共通認識	A	○乳児保育 <ul style="list-style-type: none"> ・小グループ担当制の下、愛着関係を構築し、一人ひとりの子どもの発達に合わせた援助を実施。 ・食事、排泄、着脱への意識づけをしている。
		○幼児保育 <ul style="list-style-type: none"> ・遊びや生活を通して人間関係や自然に係る楽しさを知る。 ・英語、体操、音楽、茶道等のステップアッププログラムを実施。 ・異年齢保育により相手を思いやる気持ちを育てる。
		○職員会、保育士会等の会議の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・園内研修会を実施。 ・職員間の情報周知並びに確認を実施。 ・ヒヤリハット、事故について職員会議毎に確認し毎月委員会を実施。

保育教諭の 資質向上	A	<p>○専門性を深めるための研修の充実・参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャリアアップ研修にリモートで参加 ・給食関係者研修会、食中毒・感染症研修会等に参加。 ・人権研修会、児童虐待防止研修会等。
		<p>○目標の設定および振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月案、週案、個別記録、保育日誌の記入等により各目標、課題を振り返り、反省を活かした保育を実施するよう努めている。
保護者に対する 支援及び情報提供	B	<p>○子どもの成長の喜びを共有</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連絡帳、モニター画面、today's Memory 等で日々の様子をお知らせしている。 ・担当保育者等との個別懇談会を実施。 ・非常事態宣言下で行事等は無観客で実施したが、その様子は「DVD」撮影し、各家庭に配布し、ご覧いただけるようにした。
		<p>○保育内容の説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入園・進級時には「重要事項説明会」において保育目標等の詳細について説明し、承諾を得ている。 ・毎月、園だより、グループだより、給食だよりを通してこども園の情報を定期的に提供。
地域子育て支援	B	<p>○こども園の機能の開放</p> <ul style="list-style-type: none"> ・延長保育、預かり保育を実施。
		<p>○関係機関との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会との交流 (屋台蔵見学、獅子舞等の祭事の行事を通じた交流) ・小学校との連携(運動会・参観) ・消防署、地域消防団との連携 (AED使用講習、幼児消防団への参加)。 ・自治会、消防団との非常連絡網の編成。 <p>非常事態宣言下で計画は殆ど実施できていない。</p>
健康及び安全	A	<p>○健康</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康診断の実施 (年2回の学校医、年1回の学校歯科医による検診)。 ・規則正しい生活習慣を身につける。 ・アレルギーを抱える一人ひとりのアレルギー食材とその反応時の様子を職員全員が把握し、給食関係職員と密に連携をとって適切に対応している。

	<p>○安全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害発生時の安全に備え、月1回の避難訓練を実施。 ・避難訓練・交通安全教室の実施 ・虐待防止のため、身体的、服装等に異常が感じられる園児に対しての記録及び姫路市家庭支援室への報告。 その後は支援室と連携しながら見守り活動を続ける。
--	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

4. 今後の取り組むべき課題

保育内容の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・全ての子どもに等しく教育・保育を保障し、展開していく。 ・行動・評価・反省を繰り返す中で、子どもに必要な環境、健やかな成長のための保育を目指す。
小学校との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・5歳児やその保護者が安心し、期待を持って進学できるように小学校の行事に参加、交流する。 ・小学校との子どもの引き継ぎのための業務を密に行う。
子育ての支援の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・特別な支援の必要な子ども（発達障害等）に対して、保護者との情報交流を密にとりあう。 関係機関と情報共有しながら適切な支援を行う。

5. 幼保連携型認定こども園姫路東こども園に対する総合的な評価

総合評価	<p>コロナ禍で制限がある中、色々な工夫や努力、保護者からの意見や要望にも耳を傾け、子ども達のために共に手を取り合う姿勢で運営されていると感じます。</p> <p>入学に対する不安や心配も、小学校との連携もあり安心していきます。</p> <p>子ども達一人ひとりに対して細やかな心遣いと大きな愛情を日々感じています。</p> <p style="text-align: right;">令和2年度 姫路東こども園 保護者会代表</p>
A	

※評価の表示について

A	全ての点で目標、課題が達成できている
B	目標、課題が達成されている
C	取り組まれているが、成果が不十分である
D	取り組みが不十分である